

# No.226



HPは  
こちら

# 坂東地域アグリ通信

令和6年12月6日  
坂東地域農業改良普及センター 発行  
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

## 「ゆめかおり」栽培講習会を開催

県西地域を中心にパン用小麦「ゆめかおり」を栽培する「茨城パン小麦栽培研究会」は、きめ細かな肥培管理により、実需者ニーズに合った高品質な小麦づくりを実践しています。「ゆめかおり」の生産規模拡大と品質維持に向け、10月30日に「茨城パン小麦栽培研究会」と共催で令和7年産に向けた栽培講習会を開催し、生産者21名および関係機関等17名の合計38名が参加しました。

初めに普及センターから、令和6年産の収量および品質、実証ほの結果について説明しました。令和6年産も契約数量及びタンパク基準値を達成でき、また規格外や赤かび病の発生も例年より少なかったため、作柄は良好と評価しました。

次に、農業総合センターの専門技術指導員室から栽培管理支援システム「ザルピオフィールドマネージャー」の解析結果について、また農業研究所より現在取り組んでいる研究内容について説明がありました。「ザルピオフィールドマネージャー」については、衛星画像から実際の生育状況を推定できることが分かり今後の活用が期待できる結果となりました。

最後に出荷先の製粉会社から、昨今の小麦の情勢と現在問題となっている赤かび病について情報提供を頂きました。今回の講習会は出荷先の生の声を聞ける貴重な機会となり、当研究会の品質に関する質問や赤かび病の検査方法など、数多くの質疑応答が行われました。

普及センターでは、高品質安定生産を目指して関係機関と連携し、引き続き支援に取り組んでいきます。



## 坂東地域農村女性講座「アロマストーン作り」を開催

普及センターでは、女性農業者の資質向上と地域農業者とのネットワークの構築に向け、農村女性講座を開催しています。

今年度の第一回講座として、10月29日、管内の女性農業者を対象に、アロマストーン作り講座を開催しました。元茨城県女性農業士の鈴木雅子氏（お茶の丸太園）を講師として招き、鈴木氏が作成したドライフラワーを用いてアロマストーン作りの実習を行ったほか、「グリーンツーリズムと6次産業化の取り組み」をテーマに講話を頂きました。

実習中は作業に集中しながらも、鈴木氏が取り組んでいる体験農園や加工品作りの取り組みについて意見交換が活発に行われ、有意義な講座になりました。

普及センターでは引き続き、活躍する女性農業者の育成に向け、講座等を通して支援していきます。



## (有) アグリ山崎の山崎正志氏が紫白綬有功章を受章

坂東市の有限会社アグリ山崎代表取締役の山崎正志氏が、紫白綬有功章を受章されました。紫白綬有功章は、公益社団法人大日本農会が農業分野で顕著な功績を挙げた個人や団体に授与する栄えある表彰の一つです。明治27年の創設以来、農業の発展や農村の振興に大きく寄与した方々が表彰されています。

山崎氏は、特別栽培米や有機栽培米の生産と直販に加え、海外への輸出にも積極的に取り組み、米国等の海外市場で日本の米の魅力を伝える先駆的な活動を行っています。有機栽培米の生産においては、自動抑草ロボット「アイガモロボ」を令和4年に導入され、これにより労働時間を約30%削減することを実証しました。

また、県農業経営士として、担い手の育成や地域農業の発展にも注力され、県農業経営士協会会長、県農業法人協会会長として県内農業の発展に貢献されました。さらに、令和6年に、県産品の輸出拡大を目的に「グローバルいばらき」というコンソーシアムを結成し、国内外へのプロモーション活動などの地域農産物の国際的な魅力発信に力を注いでいます。

山崎氏のこれまでの活動は、日本の農業の未来を切り拓く模範的な取り組みとして高く評価され、今回の受章に至りました。今後も、さらなる経営の発展により、持続可能な地域農業の振興に大きく貢献することが期待されます。

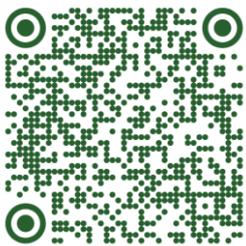


## スマート農業で生産性向上を図る農業者への新たな支援制度がスタート

スマート農業技術活用促進法（令和6年10月1日施行）は、農業者の減少等の農業を取り巻く環境の変化に対応して、農業の生産性の向上を図るため、「スマート農業技術の活用と、併せて行う農産物の新たな生産方式の導入に関する実施計画（生産方式革新実施計画）」の認定制度を設けるものです。

- 「生産方式革新実施計画」の認定を受けた農業者は以下の支援措置を受けることができます。
  - (1) 日本政策金融公庫から**長期低利**の融資を受けられます。
  - (2) 設備投資の際、**税制上の優遇措置**が受けられます。

制度チラシはこちら↓  
(農水省ホームページ)



申請をご検討の方は  
こちら↓(アンケート)



認定対象となる事業活動の例

スマート農業技術	新たな生産方式
ロボットトラクタの活用	ほ場の合筆
ドローン直播の導入	直播適性の高い品種の導入
水管理システム	ほ場の均平化

## 1月・2月 土壌診断実施日のお知らせ

1月は、8日(水)、16日(木)、29日(水)の3回の予定です。  
2月は、12日(水)、26日(水)の2回の予定です。

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断となります。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みをお願いします。
- ・土は乾燥させてから、持ち込みをお願いします。

## 編集後記

12月になり、やっと冬が来た！という気持ちになります。今年は、季節って春夏冬の3つしかないんだっけ？と思うほどに秋が足早に過ぎていってしまったような気がします。ようやく訪れた食欲の冬ですが、冬と言えば鍋、鍋と言えばアンコウ鍋ですよ。人生で一度はアンコウ鍋を食べてみたいものです。北茨城に食べに行ってきます！！(バティン)